

西来寺報

令和六年 夏
第四十八号



浄土

仏教において、浄土真宗において、大切なことの一つに「浄土」ということがある。浄土とは、仏様が建立された国土・世界を言い、一番有名なのは、阿弥陀如来のお建てになられた「西方極楽浄土」であろう。浄土は、つぶさには「清浄仏国土」と言い、対の概念を「穢土」とも「娑婆」とも言う。こちらは、私たちの作る国土、私たちの生きる世界である。

さて、浄土と聞いて、どのような世界を想像するであろうか。高尚に言えば、煩惱のない、苦しみのない、さとりの世界である。普通に言えば、種々のお花が咲き満ちていて、なんとも言えぬ素敵な香りに包まれた世界である。低俗に言えば、女が綺麗で酒が美味い、などなど。どれもこれも、私たちのイメージする浄土であろう。しか

し、結論、浄土とはどのような世界かと言うと「無分別」つまり「分けへだてのない世界」を言うのである。ある先生は、浄土においては、自と他が、あらゆる存在が「溶け合う」と表現された。もし、自分の好きな人だけがいる居心地の良い世界を想像していたらば、そこは浄土でも何でも無い。私の都合や価値観によって建立された、究極の穢土である。

信じられるだろうか。否、受け入れられるだろうか。浄土には、私の嫌いな人も、犯罪者もいるのである。これが浄土である。このことを、仏様の智慧の眼から見てみよう。自分さえ良ければそれで良いと、常に勝手を生きている、あらゆる人を自分の都合・好き嫌い・差別・差別している、このような究極の悪人である私「も」いて良い世界なのである。嫌いな人や犯罪者がいるような世界なんてこちらから願いたい下げだ、と思っている、この「私」を、浄土は受け入れてくれるのである。これが、仏様の世界。実に有難く、もつたないことである。(住職代務者)

『慰問袋の少女はいずこに』

〈完結版〉

発行のご案内

この度『慰問袋の少女はいずこに 完全版』を西来寺報に同封させて頂くことになりました。これは2016年に発行した物に加筆したものです。東京新聞編集委員でいらした田中哲男さんの協力を得て、「もう一枚の写真」の記事を加えさせていただきました。

現在、戦争の犠牲者の数が報道されない日はないほどです。しかしその数字の一人ひとりにはその人の大切な生活があり、未来があったのです。そして途絶えた未来は取り返しがつかない、これが現実なのです。再度読んでいただき、争いのない未来に思いをはせていただければと念じます。

合掌



新盆合同法要

7月8日(月) 午後1時より

新盆経。西来寺では、新盆を迎えられる方(昨年6月から今年の5月に亡くなられた方)のご家族を集めて法要をします。

(該当の方にはご案内を差し上げています。)

お盆 7月13日(土)〜7月16日(火)
東京地方、横須賀市中心部。

旧盆 8月13日(火)〜8月16日(金)

月遅れのお盆。葉山、鎌倉方面。全国的にはこちらの方が多い。

本堂の受付は、

7月13日(土)〜7月16日(火)

9時〜16時です。

柵経をご希望の方はお手数ですが、西来寺までご連絡下さい。なお新盆の方が優先となりますので、ご了承下さい。

西来寺 ☎〇四六(八二二)一〇二〇



◇お盆の日程◇

テーマは たんにしよう 歎異抄

動画配信!!

佐々木正さんによる、令和6年の同朋会のお話は、動画でもご覧いただけます。



江戸時代まで辿れました！
家系図を作った門徒さん
その6

昔の戸籍は 難問だらけ？!



石井充さん

難問その1 変体仮名

変体仮名（へんたいがな）とは、昔使っていたひらがなの異体字のことです。古い戸籍は手書きの上、字が小さい。旧字が出てきたり、名前がたまにこの変体仮名だったりするとさっぱり読めません。でも頑張つて読むしかない。インターネットで「変体仮名一覧表」を出し、字を見比べながら調べたりもしますが、結局読めない字がいくつもありました。

難問その2 本籍地が昔の地名

市町村合併等の理由で昔と今とで市区町村が異なっていることがよくあります。この場合もインターネットで現在の自治体に位置しているのか確認していくとよいでしょう。

戸籍にはたくさんの先祖の名前、続柄、本籍地、生まれた年月日、亡くなった年月日他、家督相続、分家、養子、結婚、離婚など様々な情報が載っています。隅々までしっかり読む事が大事です。

あなたも家系図作りませんか？

石井さんがお手伝いをしていただけます。
★西来寺までご連絡ください。



柏（かしわ）

柏の葉は柏餅で馴染みがありますが、樹木は？という三浦半島ではあまり見かけることはないようです。西来寺の柏の木は、入口正面にそびえるクスノキに寄り添うようにあります。柏は「新芽が出るまで古い葉がおちない」と言われていますが、ほんとうにそうだったかしら？と、ときどき写真を撮って観察し



4月下旬



4月中旬



3月下旬

新芽が膨らんでいます。この時期になっても落ちずに残っている枯れ葉があります。萌黄色の葉が育っています。葉の間から紐状に垂れ下がっているのが柏の花です。活き活きとした若草色の葉が立派です。実の成る準備が始まっているようです。

てみることにしました。

紅葉は12月頃から始まりました。枯れ葉は少しずつ落ちますが全部は落ちず、一部の葉は寒い冬を耐えしのぎ、まるで春を待つように残ります。3月になり、いよいよ枯れ葉は一枚残らず落ちきるかというときには、すでに枝先の新芽が大きく目立ち、その後はまっしぐら！新芽はあつという間に、萌黄色の手のひらのような形の葉になり、花までつけました。柏はドンダリが成る木でもありません。その実は丸くてモサモサでとてもかわいいんですよ。夏から秋の柏の木にもぜひ注目してみてください。

健康コラム

ぐっすり
ヨツヨツ

お家ヨガ 13

湿度に負けないで



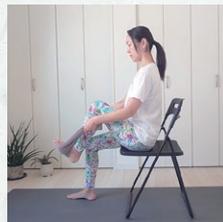
梅雨の時期は、気圧や気温の変動が大きく、身体の不調が出やすい季節です。雨の日が続くと頭痛や肩凝りの症状や、イライラしやすいなど、心も不安定になってしまがち。

梅雨から夏にかけては、高湿度により余分な水分が溜まってしまい、それが全身のむくみとなって、不調を引き起こしてしまいます。雨で家にこもりがちにな

り、座りっぱなしが続くことも、むくみの原因となります。

この季節は適度に身体を動かし、体内の巡りを良くすることが大切です。

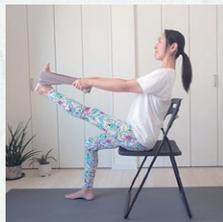
今回は、下半身に溜まりやすい水分を流し、むくみを改善させるポーズをお伝えします。フェイスタオルがあればどこでもできるので、足の重たさを感じたら、行ってみてくださいね。



① 椅子に座り、足は腰幅に開き安定させます。

② フェイスタオルの端と端を掴み、左足の裏に引つ掛ける。

③ 息を吸って背中を伸ばし、息を吐きながら左足を前に伸ばす。



④ 背中中は伸ばし続けたまま、胸を開いて3回深呼吸します。

⑤ 反対側も行いましょ。

★本堂で毎月開催！

まい先生のヨガを体験してみませんか？

西来寺本堂午後2時より、7月5日（金）

8月2日（金）・9月6日（金）

参加費千円。飲み物・タオルを忘れずに。